

令和元年度 港南中央地域ケアプラザPDCAシート_公表用

(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・担当エリア(上大岡、笹下、日野第一)は大きな3つの幹線道路に面し交通網が充実している反面、主要道路の左右は急な山坂で道路幅も狭く、車が通れない場所もあることから外出や買い物等がしにくい状況が見られます。
 ・また、どの地区も高齢化率は区平均を下回っていますが、丁目別に見ると30%を超える地域もあります。
 ・遠方の方へケアプラザの役割等の周知が十分行き届いていないため、地域への周知方法を再度検討していきます。
 ・「より住みやすい地域」を目指し介護事業所等に向け、生活支援体制整備事業を含む地域活動や支え合いの仕組みづくりへの協力体制を作っていきます。
 ・認知症支援事業に関し、地域や中学校等などに認知症サポーター養成講座を開催し理解を広げます。企業等からの依頼が多い「認知症の方に対する具体的な対応方法」についての出前講座を開催し地域の一人として企業の認知症理解の促進を図ります。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	広報誌やケアプラザ祭りを通して、地域の子育て世代、障害児・者、高齢者等に福祉保健の相談窓口であることを周知します。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	介護事業所等に生活支援体制整備事業を含む地域活動や支え合いの仕組みづくりの情報発信等をして、理解をすすめていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域福祉保健計画の推進に関しては、計画に沿った取組を地域の方々とともにチームとして実現できるように、支援チーム会議にて、検討や情報交換を行います。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「認知症の方への具体的な対応方法を理解できる講座」の内容を検討し、実施します。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ドクターのいるサロンを利用し、多職種が参加の事例検討を行います。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・外出や買い物等移動がしにくく高齢者が多い団地での買い物支援や移動販売の実施しました。また当ケアプラザを利用しにくい遠方の方に対する地域サロンの場を活用した定期的な出張相談を実施しました。
 ・地域ケアプラザの情報が届きにくい子育て世代や障害者を対象にした自主事業やイベントを開催する他、幅広い世代に役割などを広く周知しました。特に「港南区版エンディングノート」の周知を13か所で実施しました。
 ・介護事業所等を訪問し、地域の支え合いの仕組みづくりの情報発信しました。また、地域とのつながりについても意見交換をしたことで地域活動への協力として車両とドライバーの提供や研修の講師等を担ってもらうことができました。
 ・地域福祉保健計画の推進については、第4期策定に向けて、意見交換会や策定委員会等に参加し、意見収集を行い、各地区の状況に合わせて、支援チームとして地域の方々と取り組みました。
 ・認知症支援事業に関しては、中学生向けの「認知症サポーター養成講座」を中学生及びキャラバンメイトとともに企画し、認知症の理解と合わせて、具体的な対応方法についても寸劇などを通して、理解を深めていただきました。企業や事業所等からの依頼については、認知症の方への具体的な対応方法の講座を開催しました。
 ・協力医の協力による「ドクターのサロン」では、事例を通して、新人ケアマネジャー等が「医療連携の方法について」学ぶ機会となりました。

区からのコメント

担当エリアが広く、高齢者人口も区内で一番多い中で、5職種が連携して取り組んでいます。相談業務等を通じたエリア分析を行う中で、相談者が少ないエリアへのアプローチを工夫して進めています。特に、見守り協力事業者をきっかけに、コミュニティハウスとのつながりができているので、今後の上大岡地区での情報発信や出張相談などの連携が進むことを期待しています。

また、把握した相談は区や関係機関と適切に連携し、迅速に対応できています。
 移動販売は、今年度ようやく稼働に至りました。検討期間が2年近くになり、稼働できるかどうか不明な中、地域のモチベーションを保ちながら進めていくのはとても大変だったと思います。そのような中でも、足繁く地域へ通い、とてもいい形でスタートできたことは大変素晴らしいことだと思います。このような形で、人が集える場所と担い手の創出を、地域や区社会福祉協議会、区役所と協働して引き続き取り組んでいきましょう。